

単元名	春だ 今日から 2年生			教科書のページ	下 p.1～8
配当時数	6 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	(3)(5)

単元の目標	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や地域の人や場所の働きを見付け、季節ごとに自然や自分たちの生活が変化していることに気付く、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元 の評価 規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、季節ごとに自然が変化していることや、季節に応じて自分たちの生活が変化していることに気付いている。	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の変化や特徴を探したり、地域の人や場所の働きを見付けたりしている。	春の自然と関わる活動や身近な地域を歩く活動を通して、身近な自然の様子を取り入れ、自分の生活を楽しくしようとするとともに、安全に気を付けて生活しようとしている。

小単元 の評価 規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	校でいて 春を さがそう 3時間		
	[知技] 身近な自然が、毎年同じ変化を繰り返していることに気付いている。	[思判表] これまでの経験を基に、季節の変化を予想しながら春の自然の特徴を探している。	[態度] 季節ごとの自然のよさを実感し、それらを生かして自分の生活を楽しくしようとしている。
	春の まちを 歩こう 3時間		
	[知技] 季節の変化に合わせて、自分たちの生活やくらしが変化していることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 身近な地域を歩く際、安全に気を付けて行動している。		[態度] 地域の人や場所の働きを実感し、自分のくらしに生かして地域で安全に生活しようとしている。

単元名	ぐんぐん そだて わたしの 野さい			教科書のページ	下 p.9～22
配当時数	10 時間	活動時期	4～7 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみをもち、大切にしようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみをもち、大切にしようとしている。

小単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	野さいを そだてよう 2時間		
		【思判表】 自分の育てたい植物を、栽培する時期や場所などの条件で分類しながら、これから育てる植物を決めている。	
	野さいの せわを しよう 3時間		
	【知技】 自分の育てている植物が生命をもっていることに気付いている。	【思判表】 1年生での経験や身近な人に聞いたことを基に、植物の成長の様子を思い描きながら世話の仕方を決めている。	【態度】 育てている野菜の状況に応じて、詳しい人に世話の仕方を聞いたり本で調べたりして、世話の仕方を変えようとしている。
	野さいの ようすを つたえ合おう 2時間		
	【知技】 異なる植物にも、同じような特徴や性質があることに気付いている。 【知技(習慣や技能)】 適切な方法で、植物の世話をしている。	【思判表】 友達と自分の世話の仕方を比べながら、自分の植物に適した世話の仕方を決めている。	
	野さいを しゅうかくしよう 3時間		
	【知技】 自分が世話を工夫したことで、植物が大きく成長したことに気付いている。		【態度】 植物を育てることのよさを実感し、これからも継続的に生き物と関わろうとしている。
	サツマイモを しゅうかくしよう 配当時間外		
		【思判表】 これまでに育てた植物との共通点や相違点を探しながら、サツマイモの特徴について話している。	【態度】 サツマイモの成長を喜び、収穫したサツマイモをさまざまな方法で楽しもうとしている。

単元名	どきどき わくわく まちたんけん			教科書のページ	下 p.23～32
配当時数	10 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	(3)

単元の目標	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所と自分との関わりを見付け、地域にはさまざまな場所がありさまざまな人がいることに気付くとともに、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとすることができるようにする。
-------	--

単元の評価計画

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、自分の身近な地域には、さまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付いている。	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、身近な地域の場所と自分との関わりを見付けている。	地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小単元の評価規準	まちの ことを 話そう 1時間		
	[知技] 地域には、自分の知っている場所やまだ知らない場所など、いろいろな場所があることに気付いている。		
	たんけんの 計画を 立てよう 3時間		
		[思判表] 行ってみたい場所や見てみたい物を思い描きながら、探検の計画を立てている。	[態度] 友達や自分の行きたい場所や定められた時刻に応じて、探検する場所を調整したり、順番を変えたりしようとしている。
	まちを たんけんしよう 3時間		
	[知技] 身近な地域の場所が、自分の生活と関わっていることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] 地域を探検する際、定められた時刻を守っている。	[思判表] 見付けた物や場所について、自分の生活と結び付けながら、地域の人に質問したり話したりしている。	
小単元の評価規準	見つけた ことを つたえ合おう 3時間		
	[知技] 身近な地域には自分たちの生活と関わっている場所がたくさんあり、それらが自分たちの生活を楽しくしていることに気付いている。		[態度] 身近な地域には自分の生活を楽しんでくれる場所があることを実感し、それらを自分の生活に取り入れようとしている。

単元名	生きもの なかよし 大作せん			教科書のページ	下 p.33～46
配当時数	10 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	(7)

単元の目標	動物を探したり飼育したりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、それらが成長していることや、生命をもっていることなどに気付くとともに、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとすることができるようにする。
-------	--

単元の評価計画

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物が成長していることや、生命をもっていることに気付いている。	動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物の育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	動物を探したり飼育したりする活動を通して、動物への親しみをもって、生き物を大切にしようとしている。

小単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生きものの ことを 話そう 1 時間		
		[思判表]これまでの経験を想起しながら、身近な動物について友達と話している。	
	生きものを さがそう 3 時間		
	[知技]動物の育つ場所の特徴に気付いている。	[思判表]これまでの経験や聞いたり調べたりしたことを基に、いる場所を予想しながら動物を探している。	
	生きものを そだてよう 3 時間		
	[知技]動物が生命をもっていることや、成長していることに気付いている。 [知技(習慣や技能)]適切な方法で、動物の世話をしている。	[思判表]動物のいた場所と生育環境の関係性を探しながら、世話の仕方を決めている。	
	生きものの ことを つたえ合おう 3 時間		
	[知技]動物の様子に合わせて世話をすることができるようになった自分に気付いている。		[態度]世話をしてきた動物に親しみをもち、これからも生き物を大切にしようとしている。

単元名	うごく うごく わたしの おもちゃ			教科書のページ	下 p.47～58
配当時数	12 時間	活動時期	9～10 月	学習指導要領の内容	(6)

単元の目標	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、よりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方やルールを変えたりなどの工夫をし、遊びの面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとすることができるようにする。
-------	--

単元の評価計画

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや、自然の不思議さに気付いている。	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。	身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小単元の評価規準	つくりたい おもちゃを きめよう 1 時間		
		[思判表] 楽しみたい遊びを思い描きながら、つくるおもちゃを決めている。	
	うごく おもちゃを つくろう 3 時間		
	[知技] 材料やつくり方を変えることで、おもちゃの動きが変わることに気付いている。 [知技(習慣や技能)] おもちゃをつくったり遊んだりする際、安全に配慮しながら必要な道具を適切に使っている。	[思判表] 実際に試したり比べたりしながら、おもちゃの動きを予想し、使う材料を選んでいる。	
	もっと よく うごく おもちゃに しよう 3 時間		
	[知技] 自分がおもちゃに加えた工夫と、おもちゃの動きとの間には、一定の関係性があることに気付いている。	[思判表] 友達のおもちゃと比べてたり競争したりしながら、おもちゃの動きを予測し、おもちゃを改良している。	[態度] 自分のおもちゃをもっとよく動かしたいという思いをもち、繰り返しおもちゃを改良しようとしている。
小単元の評価規準	あそび方を くふうしよう 5 時間		
	[知技] 自分がルールや遊び方を工夫したことで、みんなで楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。	[思判表] さまざまな遊び方を試しながら、みんなでより楽しく遊べるように、遊び方を改良している。	[態度] 身近な物を使ってみんなと遊びを創り出すことの面白さを実感し、これからも友達と一緒に遊びを創り出そうとしている。

単元名	みんなで つかう まちの しせつ			教科書のページ	上 p.59～70
配当時数	6 時間	活動時期	10 月	学習指導要領の内容	(4)

単元の目標	公共物や公共施設の利用を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりして、身の回りにはみんなで使う物があることやそれらを支えている人々がいることなどに気付くとともに、それらを大切に、正しく安全に利用しようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元 の評価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	公共物や公共施設の利用を通して、身の回りにはみんなで使う物があることや、それらを支えている人々がいることに気付いている。	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設のよさを感じたり、働きを捉えたりしている。	公共物や公共施設の利用を通して、公共物や公共施設を大切に、正しく安全に利用しようとしている。

小 単 元 の 評 価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	図書かんを つかおう 3時間		
	[知技] 図書館は、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用する施設であることに気付いている。	[思判表] 学校図書館との共通点や相違点を探しながら、図書館を利用している。	
	[知技(習慣や技能)] 図書館を利用する際、公共の場所でのルールやマナーを守っている。		
	図書かんの ことを 聞いて みよう 2時間		
	[知技] 図書館には、幼児や高齢者、外国の人など、多様な人々が利用しやすいような工夫があることや、それを支えている人がいることに気付いている。	[思判表] 図書館の機能やそこで働く人の役割を予想しながら、図書館で働く人と話したり質問したりしている。	[態度] 図書館は多様な人々のくらしを豊かにしていることを実感し、これからも大切に利用しようとしている。
みんなで つかう しせつの ことを 話し合おう 1時間			
[知技] 身の回りには、みんなで使うためのさまざまな施設があることや、それらを支えている人がいることに気付いている。			

単元名	もっと なかよし まちたんけん			教科書のページ	下 p.71～80
配当時数	12 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容	(3)

単元の目標	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付け、自分たちの生活はさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付くとともに、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとするができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

単元 の評価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地域の人々と関わる活動を通して、自分たちの生活は、地域のさまざまな人や場所と関わっていることや、地域の人々が地域に寄せる思いに気付いている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域で生活したり、働いたりしている人と自分たちの生活との関わりを見付けている。	地域の人々と関わる活動を通して、地域の人々に親しみや愛着をもち、適切に接したり、安全に生活したりしようとしている。

小単元 の評価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	たんけんの 計画を 立てよう 2時間		
		【思判表】 探検に行って実現できそうなことを予想し、探検する場所や調べることを決めている。	
	もう いちど たんけん に 行こう 3時間		
	【知技】 地域にある場所には、働く人や生活している人がいることに気付いている。	【思判表】 地域で見付けたことと自分のこれまでの経験に関連付けながら、地域の場所や人の役割を探している。	
	見つけた ことを しょうかいしよう 2時間		
		【思判表】 友達の見付けたことと自分の見付けたことの共通点や相違点を探しながら、地域のことを伝え合っている。	【態度】 探検で分からなかったことを調べたいという思いや、もっと詳しく知りたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとしている。
	まちの 人に 聞きに 行こう 3時間		
	【知技】 探検で関わった地域の人、地域に寄せる思いに気付いている。 【知技(習慣や技能)】 地域の人と接する際、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いをしている。		【態度】 地域で関わった人の、地域に寄せる思いに触れ、これからも地域の人々と関わろうとしている。
	分かった ことを 話し合おう 2時間		
	【知技】 地域には自分たちのくらしを豊かにしてくれる人々がたくさんいることに気付いている。	【思判表】 自分や友達に関わった人々の地域に寄せる思いから、共通点を見出し、地域の人々のよさについて話している。	

単元名	つながる 広がる わたしの 生活		教科書のページ	下 p.81～94
配当時数	12時間	活動時期	11～12月	学習指導要領の内容 (3)(4)(8)

単元の目標	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりして、身近な人々と関わることのよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとするができるようになる。
-------	---

単元の評価計画

単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、身近な人々と関わることのよさや楽しさに気付いている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり、伝えたいことや伝え方を選んだりしている。	自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、地域の人々に親しみをもち、進んで触れ合い、交流しようとしている。

小単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	つたえたいな まちの すてき 3時間		
		【思判表】 伝える相手のことを想像しながら、伝えたいことを選んでる。	【態度】 地域で関わった人のことを伝えたいという思いをもち、もっと詳しく調べようとしている。
	もっと くわしく しらべよう 3時間		
	【知技】 身近な人々と関わることのよさに気付いている。 【知技(習慣や技能)】 地域の人に連絡をする際、手紙や電話を適切に使っている。	【思判表】 相手のことを想像しながら、伝えたいことを詳しく調べている。	
	つたえたい ことを まとめよう 3時間		
	【知技】 伝える相手に応じた伝え方があることに気付いている。	【思判表】 伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら、伝え方を選んでる。	
	まちの すてきを とどけよう 3時間		
	【知技】 交流することで、互いの気持ちがつながる心地よさに気付いている。 【知技(習慣や技能)】 適切な方法で訪問や依頼をしている。		【態度】 身近な人々と関わることのよさを実感し、これからも進んで身近な人々と関わろうとしている。
	まちの 人を しょうたいしよう 配当時間外		
		【思判表】 伝える人に合わせた伝え方を選び、地域の人に伝えている。	【態度】 自分が伝えたことで地域の人が喜んでくれたことを実感し、これからも地域の人々と交流しようとしている。
	冬の 行じに さんかしよう 配当時間外		
	【知技】 自分たちの地域には、季節を生かした行事があること		【態度】 身近な季節を生かした行事のよさを実感し、それらに参加し、自分の生活を楽しくしよ

	に気付いている。		うとしている。
--	----------	--	---------

単元名	あしたへ ジャンプ			教科書のページ	下 p.95～106
配当時数	27 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要領の内容	(9)

単元の目標	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、支えてくれた人々との関係を見付けたりして、自分でできるようになったことや、役割が増えたことなどに気付くとともに、支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとすることができるようにする。
-------	---

単元の評価計画

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分でできるようになったことや役割が増えたことに気付いている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、過去と現在の自分を比べたり、自分の成長を支えてくれた人々との関係を見付けたりしている。	自分の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、これからの学習や生活への願いをもって意欲的に生活しようとしている。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
小単元の評価規準	大きく なった 自分の ことを ふりかえろう 3時間		
	[知技] 自分でできるようになったことや大きくなったことに気付いている。	[思判表] 過去と現在の自分を比較しながら、自分ができるようになったことや大きくなったことについて話している。	
	大きく なった 自分の ことを しらべよう 6時間		
	[知技] 優しさや思いやり、我慢する心など、内面の成長に気付いている。	[思判表] 自分で振り返ったことや周囲の人から聞いたことをつなぎ合わせ、自分の成長について話したりかいたりしている。	[態度] 自分のことをもっと知りたいという思いを持ち、身近な人に聞いて調べようとしている。
	自分の ことを まとめよう 9時間		
	[知技] 自分自身のよさや可能性に気付いている。	[思判表] 自分の成長について気付いたことの中から、いちばんかきたいことを選び出し、作品に表している。	[態度] 自分の成長についてまとめたいという思いを持ち、適切な方法で作品をつくろうとしている。
	ありがとうの 気持ちを つたえよう 9時間		
	[知技] 自分はたくさんの人に支えられて生活し、成長していることに気付いている。	[思判表] 周囲の人々の存在と自分の成長を関連付け、感謝の気持ちを話している。	[態度] これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちを持ち、3年生でも意欲的に生活しようとしている。